

参考文献

- ・抗MRSA薬使用の手引き．日本感染症学会、日本化学療法学会
- ・ ICD制度協議会：ICDテキスト—プラクティカルな病院感染制御．メディカ出版、2004
- ・ 吉田製薬文献調査チーム：各種消毒薬の特性．消毒薬テキスト 新版（大久保憲監修）、協和企画、2006、p141-171
- ・ 尾家重治：消毒薬．[改訂]消毒と滅菌のガイドライン（小林寛伊編集）、へるす出版、2005、p80-102
- ・ 改訂、消毒・滅菌のガイドライン：へるす出版、2005年、p9
- ・ 消毒剤の使用指針：薬事日報社、1994年、p199-200
- ・ ヒビテン液添付文書
- ・ 医薬品副作用要覧：厚生省医薬局安全管理監修、ミクス、1991年、p701-703
- ・ Guidelines for preventing Health-Care—associated pneumonia, 2003. Recommendations for preventing nosocomial pneumonia. CDC Recommendations and Reports, March 26,2004/ 53(RR03); 1-36.
- ・ ネブライザーの微生物汚染対策．勝井則明，真鍋美智子，喜多英二．耳展48,3-8,2005.
- ・ ネブライザー機器の消毒．竹内万彦，今西宜義，間島雄一．耳展48,40-43,2005.
- ・ 医療環境の汚染状況．中島真幸，濱崎理佐，藤澤利行，鈴木賢二．日耳鼻感染誌24, 178-181, 2006.
- ・ 厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患克服研究事業．プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班（主任研究者：水澤英洋）
- ・ 日本環境感染学会「院内感染予防対策としてのワクチンガイドライン」（<http://www.kankyokansen.org/other/vacguide.pdf>）
- ・ Keystone JS. Travel-related hepatitis B: risk factors and prevention using an accelerated vaccination schedule. The American Journal of Medicine 2005;118,635-685.
- ・ Werner BG, Grady GF. Accidental hepatitis-B-surface-antigen-positive inoculations: use of e antigen to estimate infectivity. Ann Intern Med1982;97:367-9.
- ・ 尾家 重治．プラクティカル滅菌・消毒，メディカ出版
- ・ 廣瀬千也子監修．感染管理QUESTION BOX 3. 感染防止と看護ケア，山中書店
- ・ 小林寛伊編集．最新病院感染対策Q&A，照林社
- ・ エビデンスに基づいた感染制御 第2集—実践編．メヂカルフレンド社，2003年
- ・ 在宅ケアにおける感染対策と消毒の実例集．<http://www.yoshida-homecare.com/jitsurei/04.html>
- ・ Oie S, Masumoto N, Kamiya A, *et al.* Microbial contamination of ambient air by ultrasonic humidifier and preventive measures. *Microbios* 1992; 72: 161-166.
- ・ 日本感染症学会・日本化学療法学会編「抗菌薬使用の手引き」（2001年、協和企画）
- ・ 日本感染症学会・日本化学療法学会編「抗菌薬使用のガイドライン」（2005年、協和企画）
- ・ 一般医療従事者のための深在性真菌症に対する抗真菌薬使用ガイドライン作成委員会編「抗真菌薬使用ガイドライン」（2009年、日本化学療法学会）
- ・ Little, JR, *et al.* A randomized trial of povidone-iodine compared with iodine tincture for venipuncture site disinfection: effects on rates of blood culture contamination. Am J Med 1999; 107:119. <http://www.uptodate.com/contents/blood-cultures-for-the->

detection-of-bacteremia/abstract/1

- Strand, CL, et al. Effect of iodophor vs iodine tincture skin preparation on blood culture contamination rate. JAMA 1993; 269:1004. <http://www.uptodate.com/contents/blood-cultures-for-the-detection-of-bacteremia/abstract/2>
- Mimos, O, et al. Chlorhexidine compared with povidone-iodine as skin preparation before blood culture. A randomized, controlled trial. Ann Intern Med 1999; 131:834. <http://www.uptodate.com/contents/blood-cultures-for-the-detection-of-bacteremia/abstract/3>
- 医薬品副作用被害救済制度. <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai/help.html>
- ノロウイルスの感染予防のためのCDCガイドライン草案 http://www.cdc.gov/hicpac/pdf/norovirus/HICPAC_Norovirus_FR_Ver_05_20_10_clean.pdf
- 東京都福祉保険局 社会福祉施設等におけるノロウイルス対応標準マニュアル <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/noro/manual.html>
- 東京都健康安全研究センター「ノロウイルス対策緊急タスクフォース」最終報告 <http://www.tokyo-eiken.go.jp/news/report.pdf>
- 厚生労働省：大量調理施設衛生管理マニュアル．平成9年3月24日衛食第85号別添（最終改正：平成20年6月18日食安発第0618005号）
- 小林寛伊監訳：医療従事者の感染対策のためのCDCガイドライン1999年 メディカ出版
- 青木眞著：レジデントのための感染症診療マニュアル第二版、医学書院、2008年
- 食品健康影響評価のためのリスクプロファイル～牛肉を主とする食肉中の腸管出血性大腸菌～（改訂版）食品安全委員会 2010年 http://www.fsc.go.jp/sonota/risk_profile/risk_ushi_o157.pdf